

Enjoy Nishinoshima!

西ノ島町観光協会

「であんな」という祭り

別府区では、古くから春と秋の2回行われる「であんな」という伝統行事が継承されています。

しかし、この行事は西ノ島町内でもあまり知られていません。というのは、この行事は人目には触れてはいけないうものとして受け継がれているからです。

「であんな」の当日、夕方から別府の至誠館にて祭典が行われ、午後7時には耳浦山神に向かって神主と当番が出発します。この時に至誠館のマイクで「であんなよー、であんなよー、であんなよー」と三回ほどふれます。「であんなよー」は「出会うなよ」という意味で、それを聞いた別府区民は家に籠って、当番が通過するのを待ちます。

さて、そこで向かう耳浦山神は、耳浦トンネルを越えてしばらくするとある駐車場の手前、川の脇に鎮座しています。その祠の隣には岩壺があり、この岩壺がこの行事のメインとなります。ここで醸造が行われ、その出来によって吉兆が占われています。醸造といっても、岩壺の中に米、麴、水を入れて石の蓋をただけの原始的な方法といっいでしょう。その後、醸造された酒を山神に供え、祝詞を奏上してから至誠館に帰ります。この間、参加者は口を開いてはいけないうことになっているため、30分ほど無言での作業が続きます。

秘儀ともいえるこの行事は、今となっては珍しい伝統といえるでしょう。



↑ダウンロードはこちら！



マチを好きになるアプリ



マチイロ

自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん！

- ① 役立つ行政情報を見逃さない！
ニュース、広報紙
- ② 自分に合わせた情報が届く！
イベント、仕事、New、福祉、子ども、健康、環境
- ③ いろいろなマチの魅力をお届け！
飲食、観光

広報西ノ島が「スマホでも」読めます！
左上のQRコードを読み込んで、
無料アプリ マチイロをダウンロード！



おかげさまで、来館者数がまもなく4万人を超えそうです。貸出数は3万冊を超えました。たくさんの皆さんにご利用いただき、大変嬉しく思っております。

「こんな本がありますか?」「こんな本を置いてほしい。」など、皆さんからのリクエストもお受けしておりますので、お気軽に声をかけてください。

～ 10月のイベント ～

☆10月18日(金) 19:00～21:00開館

よるのブックカフェ～ハロウィンライブラリー～

ハロウィンにまつわるお話やトリックオアトリートなど楽しいイベントも合わせて行います。

☆10月27日(日) 10:00～12:00

島根こども読書フェスティバル in 西ノ島「レッツ!理科読～新聞紙ドームに入ろう～」

科学絵本の読み聞かせと楽しい空気の実験を行います。

いかあ屋Q&A

Q. 「公開書庫」ってなんですか。

A. いかあ屋は蔵書数5万冊を目指しています。5万冊になると今の書架(棚)に本が入りきらなくなって、書庫が必要になってきます。書庫は閉ざされたイメージですが、いかあ屋の場合、自由に入れる書庫にするために「公開書庫」という名前にしています。

現在は棚に余裕がありますので、「公開書庫」には、百科事典や大辞典、文学全集などが置いてあります。雑誌のバックナンバーや、過去の新聞もあります。奥には机もあり、本を読んだり、勉強したりすることもできますので、「公開書庫」をのぞいてみてください。

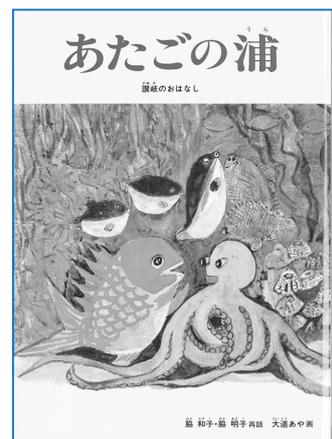
☆ 図書館員のオススメの本 ☆

「あたごの浦 (日本の昔話)」

脇 和子・脇 明子 / 再話 大道 あや / 画

月のきれいな晩のこと。たこが砂浜へあがっておなすを食べるところへ、鯛もあがってきました。「おーい、演芸会するぞー」と魚どもを集めて、みんなで歌ったり踊ったり、そのうち「なあ、みんな。ここいらで、ひとつ、とつときのかくし芸を見せることにせんか」と鯛が言いだして…。さあ、どんなかくし芸がとびだすのでしょうか。

西ノ島にも同様の話が伝わっているとか。こんなお話聞いて育ったなあというかた、違うお話知ってるよというかた、いらっしゃったら、いかあ屋前田(名前はどちらでも)まで教えてくださいね。



書名：あたごの浦 讃岐のおはなし
再話：脇和子・脇明子
画：大道あや
出版社：福音館書店

【お問い合わせ先】

西ノ島町コミュニティ図書館 〒684-0211 島根県隠岐郡西ノ島町浦郷67-8
TEL: 08514-2-2422 FAX: 08514-2-2423 MAIL: ikaya@nishinoshimalib.jp